

## 「ボッチャ」共生社会の実現を目指す最初の一步として…

少し前の話になりますが、2月にアメリカの映画の祭典アカデミー賞が開催されました。日本の「ドライブ・マイ・カー」が作品賞にノミネートされたり、有名俳優が舞台上に上がって司会者を殴ったりしたことが話題になり、受賞作品がかすんでしまったのですが、作品賞を受賞したのは「コーダ あいのうた」という映画でした。私はこの受賞を本当にうれしく思いました。あくまで私の主観ですが、確かに「コーダ あいのうた」は10年に1度の傑作だからです。

少し内容に触れます。コーダとは聴覚障がい者の親をもつ子どものことで、主人公の少女ルビーは耳の聞こえない両親と兄と暮らしています。幼いころから家族の耳となって毎日家業である漁業を手伝い、海に出ていました。でも高校の合唱クラブに入ったことで彼女のもっていた歌の才能が開花します。彼女の才能を見いだした顧問の先生は、名門音楽大学への受験を勧めます。しかし、耳の聞こえない両親は、娘にそんな才能があるだなんて気づきません。自分自身の夢と、耳の聞こえない家族への思いの間で葛藤するルビーは、はたしてどんな道を選ぶのか…。ざっとそんな物語です。

この映画には、現代社会が抱えるいくつもの問題が内包されています。ひとつは「ヤングケアラー」の問題。ヤングケアラーとは、障がいや病気を抱えていてケアを要する家族がおり、家事や家族の世話などを行う18歳未満の子どもを指す言葉で、日本でも小学生の6%がヤングケアラーに該当すると言われています。ふたつめに聴覚障がい者とその家族に対する偏見、差別の問題。耳が聞こえないばかりに漁業組合の中で孤立する兄。家族の面倒を見るのに時間を割かれ、学校では変人扱いされるルビー。その姿はこれからの国際社会がめざす「共生社会」の実現に不安を抱かせます。日本においても東京オリンピック・パラリンピックの開催以降「共生社会の実現を目指す」という文言を情報媒体を通じてしきりに目にするところです。では「共生社会」とは何か。文部科学省はこう定義しています。「これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障がい者等が、積極的に参加・貢献していくことができる社会である。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である。このような社会を目指すことは、我が国において最も積極的に取り組むべき重要な課題である。」

7月14日。和田岡小学校では、掛川市ボッチャ協会の皆さんを講師に迎え、6年生に競技の楽しさやルールを指導していただきました。6年生は今後縦割り班の下級生に、学んだことを伝達していきます。そして、秋には全校児童でボッチャの大会を開催できたらいいと考えています。いろいろな学年・学級の子どもたちが一緒になってボッチャを楽しむ姿が目に見えます。共生社会の実現に向けた和田岡小学校のほんの小さな一歩です。そんな小さな一歩がやがて道になると信じます。最後に「コーダ あいのうた」ですが、物語は極上のハッピーエンドを迎えます。幸せな気分を味わいたい方はぜひ鑑賞してみてください。

校長 梅葉 紳介



【↑次の一投について打ち合わせる子どもたち】

＜ひまわりの絵贈呈式＞ 日本画家の橋爪 純様より和田岡小学校にひまわりの絵を贈呈していただきました。橋爪様から「ひまわりのように明るく力強く太陽に向かって花を咲かせてください。」とのお言葉をいただきました。職員玄関に飾ってありますので、ご来校の際には是非ご覧ください。



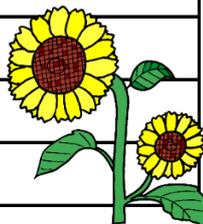
6年生が、春林院古墳、吉岡大塚古墳、ひさご塚古墳を見学しました。学習会には、「古墳スマイル隊」の方も参加していただきました。掛川市役所文化・スポーツ振興課の方にお話をいただきました。



交通安全リーダーと語る会が行われました。交通指導員の方や地区の役員様にもご出席いただき、5・6年生が活発に意見を交換していました。

### ＜7月の予定＞

日	曜	予 定
19	火	移動図書
20	水	すくすくの会読み聞かせ
21	木	4・5年生福祉教育
25	月	特別日課12:00下校
26	火	夏休みを迎える会 特別日課12:00下校 保護者面談
27	水	保護者面談
28	木	保護者面談



### ＜8・9月の主な予定＞

1日(月)	保護者面談
2日(火)	保護者面談予備日
12日～16日 閉庁日	
27日(水)	PTA奉仕作業
28日(木)	奉仕作業予備日
29日(月)	特別日課12:00下校
30日(火)	登校リーダー会
31日(水)	引き渡し訓練
9/1(木)	4・5年生福祉教育
2日(金)	通学区会・集団下校
5日(月)	委員会活動
12日(月)	クラブ
13日(火)	演劇鑑賞会
15日(木)	PTAあいさつ運動